

# 請願・陳情

6月定例会では、請願1件を新たに受理し、採択しました。陳情は2件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。採択した請願の要旨は次のとおりです。

## 胎内堀保全工事に当たり市内用水路への流水の維持を求めることについて

小平には、約350年前、開拓民の生活用水を確保するため、玉川上水からの分水によってつくられた用水路が今も流れています。明治3年に玉川上水に並行して掘られた新堀用水には立て穴を掘ってから横穴を掘ってつなげる素掘りのトンネル方式である胎内堀となつている箇所が上流部にあります。

小平市は、平成30年9月から平成31年3月にかけて、胎内堀の保全工事を計画しています。

胎内堀抗口付近の樹木伐採や宅地化により抗口部分が乾燥し、木の根の影響もあつて劣化が進んで保全対策が必要だと市は説明しています。

工事の内容は、胎内堀のトンネル内部に鉄板を張って補強した上で、現在の胎内堀抗口から下流15㍍までパイプでトンネルを延長してコンクリート擁壁をつくり、そこに現在の抗口を模したプラスチック製擬岩をはめ込むというものです。そして、この工事のため、平成30年11月から平成31年1月までの3か月間、新堀用水の水をとめる予定です。市内の用水のうち野火止用水と砂川用水を除く用水は新堀用水から分水されているため、新堀用水の水をとめることにより市内のほとんどの用水の水がとまることとなります。

これらの用水路には多摩川の原水が流れており、豊かな生態系を形成しています。特に水流が豊富な小川用水の上流部には、絶滅危惧種であるアブラハヤのほか、クチボソ、ドジョウなどの魚類や、ザリガニ、ガガンボ、カワニナ、ヤゴ類、蛭など多様な生き物が生息しています。それらを餌とするサギやカモも飛来します。

保全工事の実施に伴い3か月にわたり水流が途絶えれば、これらの水生生物の大半は死滅してしまいます。そしてその回復は容易なものではありません。平成25年、上水公園付近での漏水事故のため、半年間水が途絶えた新堀用水では、以前は見られた生物が、5年たった今も十分には戻っていません。市では現在の流量を確保して切り回しをするには大がかりな工事が避けられず、多額の経費が必要と試算し、胎内堀内の工事の危険性も回避しきれないとしています。しかし、それらの課題を克服しませんが、それらの課題を何らかの方策は見出せるはずだと考えています。

小平市開拓の礎である用水路は、豊かな自然に親しむ水辺としても貴重な財産であり、よりよい形で後世へつないでいくことが大切です。

以上の理由により、次の事項

## 「市民と議会の意見交換会」を開催しました

市議会では「小平の魅力アップについて あなたの目線で考えてみませんか」をテーマに、今年初めての意見交換会を以下のとおり開催しました。

3月定例会の報告を行ったのち、市民の皆さんとグループに分かれ、テーマに沿って意見交換を行いました。多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。

開催の概要は下記のとおりです。

- ・日時 4月27日(金) 午後7時～9時
- ・会場 ルネこだいら レセプションホール
- ・参加者数 39人



当日の様子

意見交換の内容やいただいたご意見、アンケート結果の詳細については、市議会ホームページ (<http://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>) のほか、市役所7階議会事務局でもご覧いただけます。

今回は、10月25日、26日、29日、30日の夜間に4会場での開催を予定しております。

詳細は、議会事務局までお問い合わせください。多くの方のご参加をお待ちしております。

## 意見書

6月定例会では1件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。(要旨)

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関することについて議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。(地方自治法第99条)

### 特権的<sup>地方議会議員</sup>年金制度の復活に断固<sup>反対</sup>する意見書

地方議会議員年金は市町村合併の急速な進展等による議員数の激減による年金財政の破綻により平成23年に廃止されました。しかし、議員のなり手がいないことなどを理由に地方議会議員の厚生年金への加入のための法律の改正案を議員立法により今国会に提案する準備が続けられています。

この動きは平成23年の地方議会議員年金制度廃止法案の委員会議決に際し、衆参両院の総務委員会において、地方議会議員年金制度廃止後、おおむね1年を目途として、地方議会における人材確保の観点で踏まえた新たな年金制度について検討を行う旨の附帯決議が全会一致でな

されたことによるものです。議員年金制度は廃止されましたが、元議員等の既存支給者への給付はこの先約50年続き、その公的負担累計額は、総務省の試算で約1兆1千4百億円にも上る膨大な額になります。小平市では、平成30年度予算ベースで議会費から元議員等の既存支給者の年金の支払いのために約6千8百7万円の公費が支出されています。そのうえ、議員が厚生年金に加入すれば、事業主負担として、新たな財政負担が生じ、その額は小平市で年間約2千3百万円、都道府県市区町村全体で約2百億円に上ると試算されています。

一方、町村議会を初め多くの地方議会において議員のなり手不足が深刻化していることは憂慮すべき事態であり、その方策

## 議会日誌

4月19日～7月17日

本会議、委員会、諸会議など

4月		6月	
19日	石川県議会議員視察来庁(下水道整備事業のこれまでの取り組み、ふれあい下水道館開設に至る経緯及び利用状況について)	5日	6月定例会初日
27日	市民と議会の意見交換会	6日	6月定例会2日目(一般質問)
		7日	6月定例会3日目(一般質問)
		8日	6月定例会4日目(一般質問)
		12日	総務委員会
		13日	生活文教委員会
		14日	厚生委員会
		15日	環境建設委員会
		18日	広聴広報特別委員会
		19日	都市基盤整備調査特別委員会
		20日	公共施設マネジメント調査特別委員会
		22日	幹事長会議
		25日	議会運営委員会
		28日	6月定例会最終日
			広聴広報特別委員会
			茨城県日立市議会議員視察来庁(政策立案・政策提言について)
5月		7月	
9日	総務委員会行政視察(青森県弘前市、秋田県大館市、岩手県盛岡市 11日まで)生活文教委員会行政視察(石川県羽咋市、富山県小矢部市、新潟県糸魚川市 11日まで)	4日	岩手県滝沢市議会議員視察来庁(観光振興について)
16日	厚生委員会行政視察(大阪府東大阪市、豊中市、奈良県生駒市 18日まで)環境建設委員会行政視察(北海道札幌市、室蘭市、苫小牧市 18日まで)	13日	青森県弘前市議会議員視察来庁(小平市協働事業フォローアップ支援事業について)
17日	徳島県徳島市議会議員視察来庁(なかもちテラスについて)	17日	広聴広報特別委員会
18日	東京都四市競艇事業組合議会臨時会		
22日	総務委員会		
23日	生活文教委員会		
24日	厚生委員会(稲城市視察あり)		
25日	環境建設委員会		
28日	幹事長会議		

### 議場見学

《小学3年生》	
○5月22日	八小72人
○5月31日	七小118人
○6月1日	十三小59人
○6月12日	十二小98人
	九小81人

○6月15日	花小金井小88人
○6月18日	五小109人
○6月19日	六小91人
○6月21日	学園東小64人
○6月22日	鈴木小32人
○6月26日	三小116人
○7月3日	一小77人
○7月5日	十小140人
	二小89人
	十五小79人

### あとがき

6月定例会では、さまざまな議案等について、活発な議論が交わされました。今後ともわかりやすい紙面づくりに努めてまいります。

お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

〒187-1801 小平市小川町二丁目  
1333番地  
TEL 042(346)9566  
FAX 042(346)9567